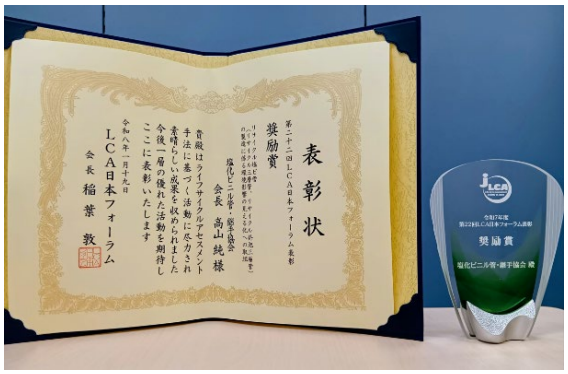
塩化ビニル管・継手協会

リサイクル三層管製造に係る環境影響評価事業が
令和 7 年度第 22 回 LCA 日本フォーラム表彰で奨励賞を受賞

令和 6 年度に当協会が実施した「リサイクル塩ビ管（リサイクル三層管、リサイクル発泡三層管）の製造に係る環境影響の見える化への取組」が、令和 7 年度 第 22 回 LCA 日本フォーラム表彰において「LCA 日本フォーラム　奨励賞」を受賞しました。

今回は、「経済産業省　脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞」「LCA 日本フォーラム　会長賞」及び「LCA 日本フォーラム　奨励賞」として、当協会の事業を含め計 10 件が表彰され、授賞式は令和 8 年 1 月 19 日（火）に東京都千代田区、海運クラブにて実施されました。



＜本事業のご紹介＞

排水・通気を用途とするリサイクル塩ビ管（リサイクル三層管、リサイクル発泡三層管）は、パイプからパイプへの国内マテリアルリサイクルを実現した製品であり、グリーン購入法に基づく特定調達品目に指定され、UR 都市機構や東京都をはじめ多くの自治体の建築物において採用されています。今回の調査では、資源循環の推進という観点のみならず、カーボンニュートラルの実現という観点からの本製品の優位性を検証すべく、両製品の原料調達から管製造までの工程における CO_2等温室効果ガス（GHG）の排出量及びエネルギー消費量の見える化を実施しました。

本調査の結果、同用途に使用される硬質塩ビ管（VU 管及び VP 管）と比較した場合、リサイクル原料製造工程（中間処理事業者による廃塩ビ管の粉砕、洗浄等）が追加、管製造工程が複雑化するものの、リサイクル原料を使用することから、GHG 排出量、エネルギー消費量は大幅に減少することが検証されました。

（調査報告書⇒URL　https://www.ppfa.gr.jp/_assets/pdf/news_250317.pdf?20250318094015）

昨今、建築資材の調達において環境性能を重視する動きも見られることから、今回の調査結果を活用しつつ、リサイクル塩ビ管の環境負荷低減効果を広く市場において訴求し、需要喚起に繋げていきます。